

アナログプレイヤーの比較試聴(17) ーモーツアルトを聴く(17)ー

1. 始めに

前報(16)に引き続き、アナログプレイヤー3機種の比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種の試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回はアンサンブルの曲です。

ドイツグラモフォン MG2336

モーツアルト ディヴェルティメント (弦楽四重奏曲) ニ長調

ディヴェルティメント (弦楽四重奏曲) ト長調

ディヴェルティメント (弦楽四重奏曲) 変ロ長調

ディヴェルティメント (弦楽四重奏曲) 変ホ長調

ヴィエナーゾリステン

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と Grrad401 では、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorensTD124 の再生では、いかにもモーツアルトの弦楽アンサンブルという艶っぽい音で気軽に聴ける印象です。

LINN LP-12 の再生では、爽やかで繊細な表現です。

Grrad401 の再生では、ThorensTD124 の艶っぽさに LINN LP-12 の爽やかさが混ざった印象です。

4. まとめ

3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、それぞれ艶っぽさや爽やかさが出ています。

以上